

問合せ先
第二管区海上保安本部 海洋情報部
監理課専門官 成田 譽孝
電話 022-363-0111 (内線 2511)



平成 27 年 3 月 26 日
第二管区海上保安本部
午後 5 時 発表

久慈港と気仙沼湾の海図を刷新！

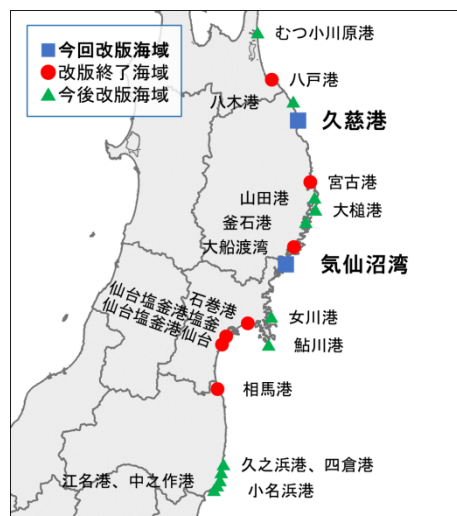
久慈港と気仙沼湾の海図を改訂し、3月27日に発行します。
今回の改訂でそれぞれの海図のほぼ全域が東日本大震災後の測量成果により更新されます。

海上保安庁では、東日本大震災後、航行安全のために被災港湾の水深測量を実施しています。

第二管区海上保安本部では計画的に測量作業と資料整理を行い、管内の21海域19図の改訂を進めています。今回改訂される2図を含め、これまでに9図を改訂し、残りは10図となりました(右図参照)。

今回の測量成果では大きな水深変化は見られませんでした。測量機器の精度向上により詳細な海底地形を把握することが出来ました(別添1、2参照)。

今後も計画的に測量作業を実施し、資料の整理を進めて、順次海図の改訂を行います。



海図は、最寄りの水路図誌販売店又は取次店で購入できます。

海図の購入方法(水路図誌販売所)：

(一財)日本水路協会のWeb ページ

URL <http://www.jha.or.jp/jp/jha/purchase/>

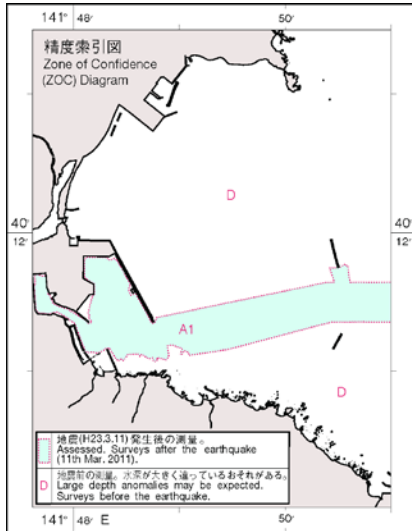
海図の概要

海図番号	図名	縮尺	発行日	価格(税込み)
W1080	久慈港	1/10,000	平成27年3月27日	2,700円
W1099	気仙沼湾	1/13,000	平成27年3月27日	3,456円

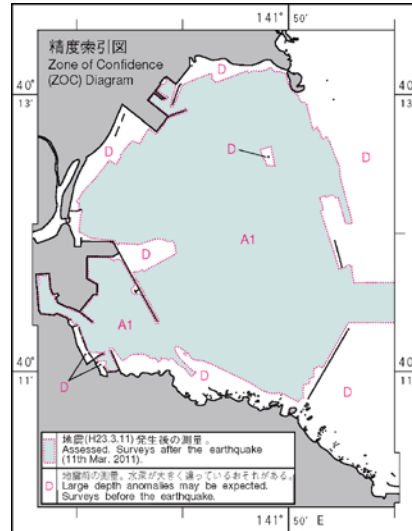
1, 海図「久慈港」(海図番号 W1080)

久慈港は、震災後、航路と主要岸壁付近の測量を実施し、平成 24 年 2 月に海図を改版しました。

今回の改版では測量船「天洋」及び「明洋」による測量(平成 25 年 9 月～平成 26 年 1 月)の成果を使用して、漁網などの存在により測量することが出来なかった一部の海域を除くほぼ全域のデータを更新しています。



平成 24 年 2 月刊行



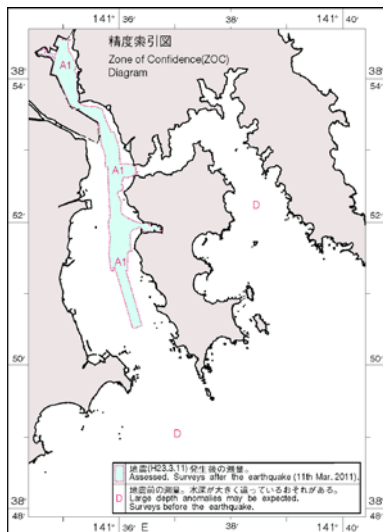
平成 27 年 3 月刊行

水色の区域が震災後の測量区域(海図記載の域精度索引図より)。

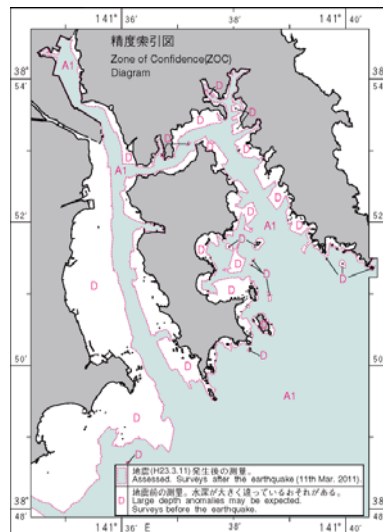
2, 海図「気仙沼湾」(海図番号 W1099)

気仙沼湾は、震災後、航路と主要岸壁付近の測量を実施し、平成 24 年 11 月に海図を改版しました。

今回の改版では測量船「天洋」及び「明洋」による測量(平成 25 年 4 月～平成 25 年 10 月)の成果を使用して、漁網などの存在により測量することが出来なかった一部の海域を除くほぼ全域のデータを更新しています。



平成 24 年 11 月刊行



平成 27 年 3 月刊行

水色の区域が震災後の測量区域(海図記載の精度索引図より)。